



親子で体験!

# じてんしゃスクール

in 尾張旭市民プール

OSCN  
2017年11月12日(日)



☆ 「親子で体験!じてんしゃスクール」レポート ☆ 会場 尾張旭市民プール駐車場

尾張旭、瀬戸、守山、千種、豊田から、小学生とその保護者の方、約50名の皆さんが参加。まず、おまわりさんから「安全確認は、とても大事です。」というお話がありました。その後は、子どもも大人も自転車にのって練習。自転車の左側から乗ります。またがったら、左足をつく。ブレーキは両手で「じわ~っと」かける。先を見て、まっすぐ進んで、ブレーキでしっかり止まる。スラロームをスムーズに。トンネルの出口には「止まれ」の標識と白い停止線。ブレーキで止まります。発車時は、安全確認「右・左・右・うしろ」。見通しの悪い場所では、見えるところまでゆっくり進んでもう一度、確認。とびださないでね。自転車の整備では、ドバツライノハウス 斉場さんのタイヤの空気についてのお話。「昔のタイヤは空気が入っていなかったんですよ。ダンロップさんがね・・・。」タイヤの変遷もおもしろいですね。最後に、大人はチャイルドビジョンを体験。子どもの視野の狭さを実感。安全確認は首を振って、身を乗り出して、しっかりと行うことが大事ですね。



後援：尾張旭市・尾張旭市教育委員会  
協力：尾張旭市市民活動課・守山警察署交通課・前原デンタルクリニック・ドバツライノハウス・G I ANTストア名古屋  
翠香書院・愛知県教員有志・あいちエコモビリティライフ推進協議会・環境省 COOL CHOICE・チーム旭小  
ウィーラースクールジャパン・矢橋昇公共交通マナー育成塾・守山尾張旭交通安全協会・Cycling Team KATAYAMA  
助成：尾張旭市市民活動促進助成事業

ウィーラースクールのカリキュラムを参考にしています



ドバツライノハウスの齊場さんによる自転車整備のお話。  
「タイヤには、きちんと空気を入れることが最も大切です。」  
「もし、パンクしたら、パンク修理にチャレンジしてみよう。」

実験。パンクしているタイヤのチューブを水に入れると……。水おけの中の様子を見ようと集まる子どもたち。



「止まれ」の標識ではブレーキで止まる安全確認は右左右うしろ



見通しの悪い場所では、二度確認します。車が見えるかな。



子ども自転車大会の選手 チーム旭小も大活躍!



サーキット・交通安全ルールを守って  
バランスをとるながらスムーズに。

おまわりさんのお話とグループ体操。「同時にいくつものことをするのは難しいですね。」  
「自転車の運転も同じです。安全確認をしっかりとしましょう。」

バランス・シーソー



OSCN じてんしゃスクール  
TEL 0561-52-3134 (片山)  
www.oscn-school.org



写真：富永・片山 文：片山